



2012
新春号

ほっと石川

特集

石川ファンの拡大目指して
県民みんなで
“おもてなし”

トピックス

石川県立音楽堂 開館から10周年
“音楽”という贈り物を、
これからも皆さんに。



特集
石川ファンの拡大目指して
県民みんなで
“おもてなし” 2

トピックス
石川県立音楽堂
開館から10周年
“音楽”という贈り物を、
これからも皆さんに。 8

知事の窓 12

ほほえみ 石川のボランティア
輪島市災害ボランティアの会 12

輝け石川の星
釜田 佳直さん 13
(金沢高校3年)

里山里海だより
神子原地区 (羽咋市) 14

NEW ふるさとの歴史・文化を探る
県九谷焼美術館 (加賀市) 15

いしかわ
食のてんこもりフェスタ 16

表紙について

■シリーズ
いしかわのお楽しみスポット
雪だるままつり (白山市)

白山市桑島地区と白峰地区で1月下旬から2月上旬に開かれる「雪だるままつり」は、石川を代表する冬の一大イベントです。住民の皆さんが作った大小さまざまな雪だるま約2000個が軒先に並び、夜にはライトアップするほか、白峰地区の味覚を食べ歩くオリエンテーリングなどのイベントもいろいろと企画しています。雪だるままつりのキャッチフレーズは、「明日忘れる豪華さよりも 永遠に心に残る素朴さを」。県では、この言葉と同様に、来県された方々に温かなおもてなしで心に響く石川の旅を楽しんでほしいと考えています。県民の皆さんができるおもてなしも数多くあります。詳しくは、特集をご覧ください。

表紙イラスト制作 / アマヤギドウ ジュン(金沢市在住)

特集

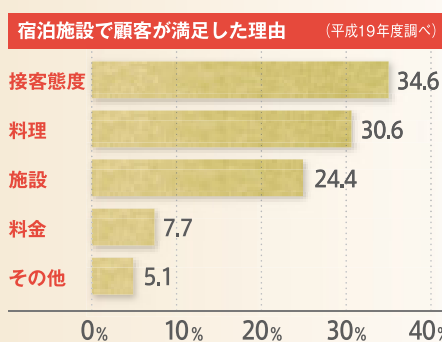
平成26年度末までの北陸新幹線金沢開業に向けて、工事が着実に進められています。首都圏と石川を約2時間半で結ぶ大動脈の完成をきっかけとした交流人口の拡大を目指し、県では多彩な観光振興に力を注いでいます。

そのひとつが「おもてなしの向上」です。観光業や宿泊業に携わる人だけでなく、県民一人ひとりが訪れた人を温かく迎えることで、石川ファンの拡大に結び付けるのが目的です。県では、ここ石川が「おもてなし」の心に満ちあふれた観光地になるよう、取り組んでいます。

一人ひとりが
おもてなしの主役

県では、観光振興の指針となる「新ほっと石川観光プラン」を平成23年3月に改定しました。改定版では北陸新幹線金沢開業に向けた課題を整理し、首都圏からの観光客数を現在(平成21年実績)の227万人から、平成27年までに500万人に拡大するなどの目標を掲げています。

平成19年度に実施された調査では、宿泊客が満足したと判断する基準は、料理や施設の充実度よりも、接客態度が最も高いという結果でした。県では、県民総ぐるみでおもてなしを向上させ、「石川にもう一度訪れたい」と感じていただくことで、観光客数の増加につなげたいと考えています。



出典: 日本政策投資銀行
「地域を挙げたホスピタリティ向上戦略」

▼金沢駅東口のもてなしドーム地下広場で、もてなし湯茶のふるまいや観光案内を実施



▶金沢もてなし隊は駅前広場で毎週清掃作業を行っています



金沢
金沢駅東
グッドマナーのまち
推進協議会

金箔入り棒茶で
観光客をお出迎え

北陸新幹線金沢開業を控え、玄関口となる金沢駅東周辺では、観光客をもてなすための取り組みが活発化しています。平成23年11月、金沢駅東周辺の町会連合会や大学生の街づくりボランティアグループなどが連携して、「金沢駅東グッドマナーのまち推進協議会」が発足しました。同協議会では、それぞれに活動していた団体が協力し、さらなる取り組みの拡大を目指しています。

そのひとつが、金沢駅東口のもてなしドーム地下広場で実施する「もてなし湯茶のふるまい」です。連携団体の金沢もてなし隊では、冬季を除く毎週土曜の午前10時から正午まで加賀棒茶を無料で振舞っています。お茶は金沢の誇る伝統工芸・金箔入りで、茶の文化が根づく金沢らしいおもてなしが好評のため、同協議会ではこの取り組みを冬季にも拡充できるよう、連携を深めていく予定です。

マナーの良い
美しいまちへ

また、ドーム周辺のゴミ清掃や草むしりなどの美化活動にも力を入れています。「駅に着いた途端、タバコや空き缶が捨てられていたりすると、いい気持ちがありませんから」と、金沢もてなし隊総リーダーで協議会会員の宮岸佑一さんは話してくれました。協議会では、今後も各団体が力を合わせ、マナーのよい美しいまち、もてなしのまち金沢のPRに力を注いでいく考えです。

石川ファンの
拡大目指して
県民みんなで
“おもてなし”



金沢駅東グッドマナーのまち推進協議会
宮岸 佑一さん
みやぎし ゆういち

“ふれあい観光”で 人の温かさをを感じる

通りに22店の
語り部処が並ぶ

約450メートル続く石畳にお茶や醤油、和ろうそくなどの老舗が並ぶ七尾市の一本杉通り。訪れた人と積極的に交流する“ふれあい観光”に力を入れ、週末になると多くの旅行者でにぎわう七尾市を代表する観光スポットです。

ふれあい観光の柱となっているのが、平成17年に始めた「語り部処」です。一本杉通りの22店が参加し、それぞれの店舗で町の歴史や扱う品物のうんちくなどを聞くことができます。「特別なことは何もしていません。この地域に住む人の暮らしぶりが垣間見える茶の間の観光で、訪れた人をもてなすようにしています」と、町会長の北林昌之さんは話します。

訪れた人の声を
参考に街づくり

一本杉通りがふれあい観光にかじを取ったきっかけは、訪れた人たちの声に耳を傾けたことでした。平成16年に通り沿いの歴史ある店舗を登録有形文化財に申請したり、毎年春に「花嫁のれん展」を開催したりするなどの街づくりが評判を呼び、視察や旅行者が増加しました。

「訪れた人たちが皆さん、自宅で商売している点や、新しい家も古い家もある街並みがいいなど、そのままの姿を褒めてくれました。その声を参考にありのままの生活文化にふれてもらう観光に力を入れました」と北林さん。
見るだけでなく、地元の人とふれあう観光は、ほっと一息つける時間となっています。

いるようで、温かな交流を
求める県外からのリピーターが少なくありません。



一本杉町会長
北林 昌之さん
きたばやし まさゆき

▼北林さんの営業する茶店も語り部処として活動しています

▼道番屋の木製サイン



地元の人たちが
街歩きをサポート

近年、旅行スタイルは様変わりし、団体客から家族や友達同士で訪れる個人客が増えています。加賀市



▲山代温泉の観光マップを手に道案内をする谷口さん

山代温泉で、そんな少人数の街歩きをサポートするのが、山代温泉番屋会です。番屋会には、観光協会をはじめ、温泉街にある呉服店や時計店、ガソリンスタンド、コンビニなど、バラエティに富んだ32施設が加

盟。軒先に「道番屋」と書かれた木製サインを掲示し、立ち寄った観光客の問い合わせに答えています。旅行者からはおすすめのランチや日帰り入浴できる旅館など、いろいろな質問が寄せられるそうで、道番屋加盟の呉服店を営む谷口敦子さんは、「お客様の好みを聞き、それに合った施設を紹介したり、目的地までにかかる時間を教えてもらったりするなど、地元ならではの細かな情報まで伝えるようにしています」と教えてくれました。

温かみのある
方言で交流

さらに、無料の雨傘の貸し出しサービスも実施しています。傘は道番屋加盟店であれば、どこでも返却でき、利用者から大変喜ばれ



山代温泉番屋会会長
谷口 敦子さん
たにくち あつこ

ています。番屋会では今後、会員数の増加に取り組みとともに、温かみのある方言で話すなど接し方にも工夫を凝らし、旅行者と地元住民との交流をより深めていきたいと考えています。

山代の情報は “道番屋”に おまかせ

加賀
山代温泉
番屋会
(加賀市)

能登
一本杉町
(七尾市)

全県的な取り組みを推進する協議会を設立

県では平成23年8月、全県的なおもてなし力のアップに向けた旗振り役として、谷本正憲知事を会長とした「ほっと石川おもてなし推進協議会」を設立しました。

同協議会は、県内の観光や経済、交通、地域といった各種団体や行政などが参加し、おもてなし推進大会

を開催するなど、さまざまな業界が一体となって取り組みを進めていく計画です。

また、今年度内におもてなしのホームページを開設し、おもてなし講座や観光おもてなし塾（詳細は7P）の開催概要、先進的な活動に取り組む団体などを紹介する予定です。



▲協議会の設立総会の様子

推進大会で県民の「おもてなし」意識を共有

県では、多くの県民がおもてなしを実践する契機とするため、「おもてなし推進大会」を企画しています。

平成23年11月には、県七尾美術館（七尾市）で1回目となる能登地区の推進大会を開催。北林さんが一本杉通りの活動を発表しました。

参加者募集

知事と語るおもてなし推進大会

日時：平成24年1月21日（土）
午後2:00～4:05

場所：県地場産業振興センター
本館大ホール（金沢市鞍月2-1）

内容：おもてなしのプロと知事との意見交換会
おもてなしに関する講演

●問い合わせ

県観光推進課 TEL 076(225)1542



▲能登地区の推進大会でのおもてなし宣言の様子

観光おもてなし塾（詳細は7P）講師で、ホテル日航金沢チーフコンシェルジュの小島久枝さんに、おもてなしをする際の心構えを聞きました。

一期一”縁”を大切に

石川を訪れる人はそれぞれ年齢や趣味が違いますし、同じ方でもそのときの気分によって受けた心遣いも変わります。ですから、「おもてなし」に決まったノウハウはなく、いかに観光客の方の心に寄り添って考え、心を込めて対応するかが重要だと思います。

また、観光客の方との出会いは、そのときだけでもいいかもしれません。「もっと親切にしておけばよかった」と後悔しないよう、ご縁を大切に、一期一”縁”のおもてなしを心がけてみてください。

旅行で来た方の中には、不慣れた石川に不安を感じている方もいるはずです。ちよっとおせっかいになるくらいの気持ちで、声をかけてみてはいかがでしょうか。また、その際に笑顔や方言で接すると温かみも伝わりますよ。



▲ホテルロビーで宿泊客と接する小島さん

おもてなし講座 観光マイスターなどが講師

おもてなし力の底上げには、県民一人ひとりが「観光案内人」という意識を広げ、旅行者を迎える態勢を整えることが大切です。県では、おもてなしについて考えるきっかけづくりとして、「おもてなし講座」を開いています。

独創的で個性的な取り組みにより石川の観光の魅力アップに貢献している県認定の「ほっと石川観光マイスター」など、観光業界で活躍する方々が講師となり、講座を実施。受講料は無料で、現在受講団体を募集しています。平成22年6月のスタート以来、県内各地の公民館や小学校などで講座を開き、これまでに2000人以上の方が受講しました。



▲県内各地で講座を開き、おもてなしの重要性をメッセージしています

受講者の声



北村 祐子さん
(白山市在住)

「白山ろくで温泉宿を営んでいます。今日の講座を通して、やはり人と人がふれあうおもてなしの大切さを再確認しました」



橋爪 幸子さん
(白山市在住)

「講座では、“一人ひとりが町を表す”という言葉がありました。地元の魅力をより感じてもらえるよう、おもてなしを心がけます」

受講団体募集中

- 内容 ① おもてなしとは
 - ② 私たちにできるおもてなし
 - ③ 地域のお国自慢紹介
- （講座は30分～1時間30分程度）
土日、祝日、夜間も受講可

●申し込み 県観光推進課 TEL 076(225)1542

観光おもてなし塾 観光産業のリーダーを育成

おもてなし講座と並行し、石川の観光産業を担っていく未来のリーダーを育成する「観光おもてなし塾」も開講しています。おもてなし塾は、宿泊施設や飲食・小売店など、観光産業に携わっている方々が対象で、今年度は年6回の日程で行っています。

講師には県内外で活躍する接客の第一人者の方々を招き、長年の経験を踏まえた講義を実施。座学だけでなく、さまざまな場面を想定したグループワークなども取り入れた実践的な内容となっています。



▲今年度の1回目の塾では、谷本知事が講演を行いました

実践講座

今日から
始めよう!!

あなたにもできる“おもてなし”

石川を訪れた人を迎える“おもてなし”は、相手を思いやる気持ちが大切です。今日から実践できる身近な取り組みを紹介します。

①道で観光客に出会ったら



- STEP 1 まずはにっこり。話しかけやすい雰囲気を作る。
- STEP 2 「こんにちは」。明るく大きな声であいさつ。
- STEP 3 「さようなら」「また来てね」お別れのあいさつも忘れずに。

プラス 写真を撮り合っているカップル、グループに「撮りましょうか？」の声をかけを。

②迷っている、困っている人を見かけたら



- STEP 1 道を聞かれたら、丁寧に答える。
- STEP 2 自分から積極的に声をかけてみる。
- STEP 3 おすすめの情報があれば伝える。

プラス 普段通りに方言で話してみよう。

③普段の暮らしの中でできること



- STEP 1 マナーを守って町をきれいに。
- STEP 2 ゴミを見つけたら、すすんで拾う。
- STEP 3 花を植えたり、海岸を清掃したり、地域のいろいろな活動に参加してみる。

プラス 郷土料理や旬の食べ物に詳しくなる。

石川県立音楽堂 開館から10周年

“音楽”という贈り物を、
これから皆さんに。

JR金沢駅に隣接する県立音楽堂が、平成13年9月の開館から10周年を迎えました。県立音楽堂は、すぐれた音響のコンサートホールと、本格的な舞台機構を備えた邦楽ホール、多目的に利用できる交流ホールを併せ持つ、全国的にも珍しい音楽施設です。ここを拠点に音楽文化の振興に力を注ぐオーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)音楽監督の井上道義さんと、音楽堂邦楽監督の駒井邦夫さんに、県立音楽堂の特色や公演の魅力などについて語っていただきました。



▲県立音楽堂コンサートホールでのオーケストラ・アンサンブル金沢の公演

本場ヨーロッパでも 数少ない恵まれた環境

OEKにとって県立音楽堂はとても大切な場所です。練習も公演の本番当日もここで演奏しています。音楽堂ではいつもの光景ですが、これは国内はもちろん、クラシックの本場ヨーロッパでもあまり見られない大変恵まれた環境です。通常は楽団の練習場所と本番ホールは違い、いくらか練習でいい音ができたとしても、コンサート直前に本番ホールでもう一度、作り直す必要があります。

Interview

オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督

井上 道義さん
いのうえ みちよし



1946年生まれ。桐朋学園大学卒業。71年にグイド・カンテリ指揮者コンクール(ミラノ・スカラ座主催)で優勝。新日本フィル、京都市響の音楽監督を経て、2007年にOEK音楽監督、県立音楽堂アーティストック・アドバイザーに就任。ラ・フォル・ジュルネ金沢など多くの企画を成功に導いている。

Profile

ラ・フォル・ジュルネで クラシックが身近に

開館から10年を迎え、県内に音楽を楽しむ人が増えていると実感しています。先日、交流ホールで開かれた公演で、それを象徴するシーンに出会いました。近くにいた若

が整っています。これは、音楽堂の開館前から活動するOEKに合わせてホールを設計しているからです。初代音楽監督の岩城宏之さんや県、金沢市など、開館当時の関係者の皆さんが「石川にいい音楽を根づかせよう」としっかりとした哲学を持って取り組んでいたこと、大変感謝しています。

音楽堂だから聴けるOEKの演奏をぜひ

い女性が2歳くらいの子どもをひざの上に寝かせながら、コンサートに耳を傾けていたのです。この光景を見たとき、毎年ゴールデンウィークに県立音楽堂をメイン会場に実施するクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ金沢」のおかげかもしれないと思いました。同音楽祭は、0歳児から入場できるコンサートなどクラシックをもっと身近に感じてもらうことが目的のひとつで、その意識が県民の皆さんの中に広がっているようで、とてもうれしかったですね。

OEKでは、県立音楽堂で定期演奏会のほか、いろいろな企画でコンサートを開いています。もちろん、「OEKは嫌い、聞き飽きた」という方もご安心ください。県立音楽堂では、幅広い趣味や世代の方に喜



▲平成20年から始まったラ・フォル・ジュルネ金沢は春の恒例イベントとして定着

※音楽に親しむ人の割合
過去1年間にクラシック音楽会を鑑賞した人の割合

県立音楽堂開館前(平成13年)	全国8位
開館後(平成18年)	全国5位

出典：総務省統計局「社会生活基本調査」

んでいただけの多彩なイベントがそろっていますよ。

Column

県立音楽堂の開館に尽力



OEK永久名誉音楽監督
故岩城 宏之さん
いわき ひろゆき

開館10周年を迎えた県立音楽堂の歩みを語る上で、OEKの初代音楽監督を務められた指揮者・故岩城宏之さん(享年73歳)は欠かせない存在です。昭和63(1988)年に結成したOEKを豊かな国際経験と指導力によって短期間で国内トップクラスのオーケストラへと成長させ、その演奏を最大限に引き立たせるためのコンサートホールの必要性を訴えたことが、県立音楽堂誕生のきっかけとなりました。開館後も芸術総監督を兼務し、県内の音楽文化の振興にご尽力いただきました。

県立音楽堂では、平成18年にこの世を去った岩城さんの功績をたたえ、その遺志を受け継いでいくため、「岩城宏之音楽賞」を創設し、地元ゆかりの優れた音楽家を顕彰するとともに、毎年、同賞受賞者が出演する「岩城宏之メモリアル・コンサート」を開催しています。

県立音楽堂へようこそ！

コンサートホール

オーケストラ・アンサンブル金沢の本拠地であり、クラシック音楽を演奏・鑑賞するための理想的な環境を整備。本格的なパイプオルガンを備えているシューボックス形式のホールは、バランスのとれた豊かな響きと迫力ある臨場感を楽しめます。

■座席数 / 1560席



邦楽ホール

回り舞台や可動式花道など、日本舞踊や歌舞伎、文楽といった、さまざまな芸能に対応した舞台設備を整えています。客席から舞台までの距離が近く、その臨場感を見る人を芸能の世界にぐっと引き込みます。また、あらゆる場所に施された伝統工芸も見どころのひとつです。

■座席数 / 720席



交流ホール

コンサートや展示会、グループ発表会、社交ダンスなど、多彩な企画に対応でき、それぞれのイベントに応じてステージレイアウトを変えられます。交流ホールの入口がある地下1階には、楽器等の練習室（7室）などがあります。

■座席数 / 250席



INFORMATION

県立音楽堂 おすすめ公演情報



新年の始まりを華々しく飾る
ニューイヤーコンサート2012

OEK第313回定期公演
山田和樹のベートーヴェン「英雄」

日時 / 平成24年1月8日(日) 15:00
会場 / コンサートホール

指揮：山田和樹
管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢
ピアノ：モナ=飛鳥・オット
モーツァルト / 歌劇「魔笛」序曲
グリーグ / ピアノ協奏曲
ベートーヴェン / 交響曲 第3番「英雄」
料金：SS席6000円・S席5000円・A席4000円
B席3000円・スターライト席500円



ワンコインで気軽にクラシックを
ランチタイムコンサート

～歌劇「フィガロの結婚」アリア集～

日時 / 平成24年1月20日(金) 12:15
会場 / コンサートホール

出演：安藤常光(バリトン)ほか
曲目：モーツァルト / 歌劇「フィガロの結婚」より
料金：全席自由 500円(2歳以下無料)

次回予告
3月27日(火) 12:15「ぼくはモーツァルト」



“辰年”にちなんだ芸能の数々
干支の芸能シリーズ“辰の芸能”

日時 / 平成24年1月22日(日) 14:00
会場 / 邦楽ホール

素囃子「竹生島」(杵屋喜遊社中)
狂言「浦島」(野村又三郎)
半能「春日龍神 龍神揃」(佐野由於、金沢能楽会)
料金：一等席3500円・二等席2500円
栈敷席(4名まで) 1万2000円

このほか魅力的な公演、イベントが数多く予定されています。詳しくは県立音楽堂のホームページをご覧ください。

●問い合わせ
石川県立音楽堂 〒920-0856 金沢市昭和町20-1
【(財)石川県音楽文化振興事業団】

TEL 076(232)8111 / FAX 076(232)8101
ホームページ www.ongakudo.jp/

※OEK定期会員を募集しています。決まったお席とお得な会員割引料金でOEKの定期公演をお楽しみいただけます。

Interview

県立音楽堂邦楽監督

こまいくにお
駒井邦夫さん



格調の高いホールが
出演者にも好評

県立音楽堂邦楽ホールは本
当に素晴らしい舞台で、円形
に切った床板が回転する回り
舞台や観客席を貫いて設置し
た花道、一段高く設けた栈敷
席など、本格的な舞台設備が
備わっています。私はNHK
に入局し一貫して音楽番組の
制作にかかわってきたことも
あり、全国各地のホールを目
にしてきましたが、これほど
充実した専用ホールは珍しい
ですね。東京・国立劇場に匹
敵するほどだと思っ
ています。加えて、ホールは
加賀友禅、装飾に九谷焼や金
箔など数々の伝統工芸をあし
らい、石川らしい格調の高さ

も感じられます。
そんな全国に誇る舞台にふ
さわしい公演をと思い、歌舞
伎や文楽といったさまざまな
分野で活躍する超一流の方々
を招き、石川の伝統芸能とコ
ラボレーションするなど、多
岐にわたる公演を企画・実施
してきました。そんな中、出
演者の皆さんから「またここ
で演じたい」とおっしゃって
いただくことも多く、大変う
れしく思っています。

伝統芸能を
子どもたちに伝えたい

邦楽監督に就任して9年が
たち、石川県は全国トップク
ラスの芸どころだと再確認し
ています。県内各地に多種多

1941年生まれ。幼少時から邦楽や舞
踊、歌舞伎などの研さんを積み、古
典芸能に精通。同志社大学卒業後、
NHK(日本放送協会)に入局。音楽
番組部部長、エグゼクティブ・ディレ
クターを経て2005年に退職した。以
後、邦楽演出家として幅広く活躍し
ている。これまでに芸術祭賞やイタリア
賞、エミー賞などを受賞。2002年に
県立音楽堂邦楽監督に就任。

Profile

邦楽ホールは芸どころ石川の象徴

様々な伝統芸能のお師匠さんが
いらつしやう、金沢市の茶屋
街を歩けば芸妓さんが練習す
る三味線の音が聞こえてくる
など、伝統芸能がとて身近
な存在となっています。
県立音楽堂では、そんな石
川の特徴を次代に継承してい
くため、平成22年9月に邦楽
器を学ぶ「いしかわ子ども邦
楽アンサンブル」(※下記コラ
ム参照)を結成しました。現
在、小学生から高校生まで約
20人が参加し、三味線や箏な
どを一生懸命に練習していま
す。
また、文楽など言葉遣いの
難しい伝統芸能の公演では、
歌詞をプログラムに記載す
るなど、初めての方でも楽し
んでもらえるよう工夫してい
ます。さらに、最近では古典
だけでなく、現代作曲家の新
作も増え、箏や尺八などで若
手の人気演奏家も数多く登場
し、邦楽はとて親しみやす
くなっています。「伝統芸能
は難しそう」と思っている方
も、ぜひ一度、県立音楽堂で
邦楽の魅力にふれてみてくだ
さい。



▲次世代を担う子どもたちに邦楽の魅力を伝えています

Column

邦楽器に親しまおう！ いしかわ子ども邦楽アンサンブル

いしかわ子ども邦楽アンサンブルは、小学2年生から高校3年生までを対象に、県立音楽堂で開催する邦楽教室です。邦楽囃子家の望月太左衛門さん(東京都住)を講師に、毎月2回、三味線や太鼓、箏など邦楽器全般を学んでいます。年に数回は、音楽堂の舞台での演奏もあり、平成24年3月31日に開く公演「オーケストラの日」にも出演する予定です。団員は随時募集していますので、興味のある方は県立音楽堂までお問い合わせください。



輝け石川の星

FILE.02

1日でも早く 1軍の舞台へ プロの世界に 挑む注目の右腕

金沢高校3年
釜田 佳直さん
かまた よしなお

Profile

小松市出身。小学2年生で野球を始める。金沢高校では1年生秋からエースとして活躍。身長177センチ、体重77キログラム。右投げ右打ち。

ボールに書いた「闘球」は金沢高校の浅井純哉前野球部監督からいただいた言葉で、1球1球に気持ちの入った投球を心がけています

釜田さんは、鋭いスライダーやカーブなど、多彩な球種が魅力の右腕で、中でもストレートは最速153キロを誇ります。「プロで通用するために、まだまだ真つすぐに磨きをかけていきます。そして、1日でも早く1軍のマウンドに立ち、ひとつずつ勝ち星を重ねていきたいですね。」

こうプロ1年目の抱負をしっかりとした口調で話す釜田さんですが、10月のドラフト会議当日は、授業も上の空になるほど緊張したそうです。ですから、楽天から2位指名を受けた瞬間は、長年の夢だったプロ野球選手への道が開き、ほっとした気持ちでいっぱいだったと言います。楽天の本拠地で、初めて訪れる東北について聞くと、「少しでも大震災で被災した方々の力になれるよう、全力プレーを心がけていきます」

ライバルは 星稜の西川選手

そんな釜田さんが、プロ入り後も強く意識する存在が中日ドラゴンズへの入団が決まった星稜高校の西川健太郎投手です。「西川選手は友人であり、中学のころからのライバルです。僕はバ・リーグ、彼はセ・リーグに進みますから、いつかは日本シリーズでお互い先発投手として対戦したいですね」と、意気込みを語る釜田さん。

日本一の座をかけた石川の星の投げ合いに、今から期待が膨らみます。

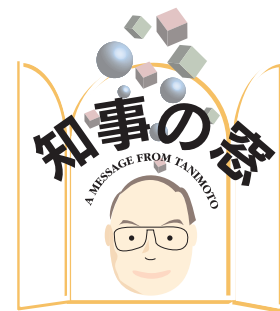


3年時に出場した夏の甲子園では完封を含む2勝を挙げ、チームをベスト16に導いた

少しでも 被災地の力に

釜田佳直さんは、平成23年に春・夏連続で甲子園に出場した金沢高校のエースで、卒業後はプロ野球・楽天イーグルスへの入団が決まっています。プロ入りを間近に控えた今の気持ちを聞きました。

写真提供/共同通信社



おもてなしで、相手も 自分もハッピーに

ある調査によると、観光客の実に4割の方が家族や友人の話などの「口コミ」を参考にして目的地を選ぶそうです。旅先で感じた印象が「生の声」として発信され、この「口コミ」が観光地の良しあしを判断する物差しになっているのです。

石川のファンを増やすためには、観光施設や宿泊施設などのハードに加え、県民一人ひとりが訪れた観光客を温かく迎える「おもてなし」の心が大切です。私も、かつて旅先で受けた親切やふれあい忘れられず、今も記憶に強く残っています。それらが「来て良かった」「友人にも薦めたい」との感動と満足を生み、「口コミ」という強力な応援団になってくれるのです。

「おもてなし」は決して難しいことではなく、誰でも簡単にできることです。観光客へのちょっとした気遣いで、私たち自身もハッピーな気分になりませんか。

いよいよ本格的な冬の到来です。県民の皆様には風邪などに十分注意され、新しい年が健やかな1年となりますよう祈念いたします。

さて、健康づくりのための日課になっている早朝ウォーキングでは、心まで温まることしばしばあります。この時期は日の出が遅くて暗いため、金沢城周辺の朝は静かですが、明るく夏場は結構、観光客が訪れています。ある日、石川門のところまで中に入ろうか迷っているご夫婦を見かけ、声をかけて中に案内しました。

金沢城の歴史や本物志向で復元した五十間長屋、菱櫓の工法などを説明したところ、「ガイドブックにも載っていない話が聞け、早起きしたかいがありました。感激しました」と何度も頭を下げられました。私も喜んでもらったのがうれしく、一日中、晴れやかな気持ちで過ごすことができました。

smile 石川のボランティア

ほほえみ

輪島市災害ボランティアの会
(輪島市)

東北の被災地に 手作りバッグで 温もりを届ける

着物をバッグにリサイクル

輪島市災害ボランティアの会では、平成23年4月から着物をリサイクルした「和みバッグ」を作り、タオルをアレンジしたドレスタオルや輪島塗の箸などを入れ、岩手県陸前高田市などの仮設住宅で暮らす東日本大震災の被災者に贈っています。バッグや小物は手作りの一点ものばかりで、一つひとつ色や柄が違います。「仮設住宅では同じ仕様の生活用品が多くなりがちで、被災者の皆さんからは『好きなものを選びたい』がうれしいとおっしゃっていた聞いています」と、代表の三谷みはるさんは教えてくれました。

同ボランティアは4年前の能登半島地震の際に、ボランティア連絡会を母体として誕生し、災害ボランティアセ



着物は市民から無償で提供されたもので、これまでに約700個のバッグを制作しました



新聞の折り込み広告で参加を呼びかけたところ、これまでに150人以上の市民が参加

●問い合わせ
輪島市災害ボランティアの会
代表 三谷 みはる
TEL 0768(22)2219
(事務局/輪島市社会福祉協議会)

ンターの手伝いや市内の仮設住宅でのふれあいイベントの企画などに取り組んできました。「活動をまとめた冊子も制作し、これからどうしようかと思っているときに東日本大震災があり、4年前に受けたご恩に少しでも応えたいと考え、活動を始めました」(三谷さん)。奥能登から東北に、和みバッグとともにメンバーの復興への願いも届けられています。

神子原地区 (羽咋市)

神子原地区は、富山県との県境に近い中山間地域に、県内最大規模の棚田が美しく広がる集落です。

取り入れたりするなど、多彩な地域振興に知恵を絞っています。これらの特色ある取り組みで生まれた幅広

い世代との交流は、集落の活性化につながり、県内外から視察に訪れる人が後を絶ちません。

世代や県境をこえた交流で地域を元気に

地区の農家が出資して4年前にオープンした直売所は、集落の元気を象徴する施設のひとつです。ローマ教皇に献上されたことで全国的にも有名なブランド米「神子原米」や、能登野菜の神子原くわいなどの農産物をはじめ、漬物や民芸品といった神子原の特産品がそろった店内は、平日でも多くの買い物客でにぎわい、金沢市や富山市から足を運ぶ常連客も少なくありません。また、直売所に農産物を持ち寄ることとで消費者の声を聞く機会も増え、生産者の励みとなっているそうです。

さらに、市と連携し、空き農地・農家の情報を発信して定住を促進したり、大学生が農家に泊まり農作業を手伝う烏帽子親農家制度を



▲ 神子原米をはじめ、神子原の幸が並ぶ直売所

移り住んで見えた神子原の魅力

里山からのメッセージ

「3年前に神子原地区に移り住み、有機栽培で野菜の多品目少量生産に取り組んでいます。移住を決めたのは、神子原地区の美しさにひかれたからです。初めて訪れた際、その光景に心を奪われ、1カ月後には空き農家を借りて、生活していました(笑)」

農業 屋後 浩幸さん

「神子原で地産地消がテーマのカフェを始めて5年、住民の皆さんにいつもお世話になっています。道に迷ったお客様をカフェまで案内し、『よう来たね。ありがとう』と、私の代わりにもてなしてくれることもしばしば。そのやさしさに感謝の気持ちでいっぱいです」

カフェ経営 武藤 一樹さん

ふるさとの歴史・文化を探る

県九谷焼美術館

(加賀市)

世界に誇る九谷焼の魅力

超一級の工芸品として、海外でも人気の色絵磁器「九谷焼」。石川が世界に誇る宝を専門に展示するのが、「石川県九谷焼美術館」です。通常、時代区分に応じて作品を展示するのに対し、こちらでは「青手」「色絵・五彩」「赤絵・金襴」の九谷焼を代表する3様式に応じて展示しています。

様式ごとに異なる魅力を表現するため、展示室ではそれぞれの作品がもつとも映える演出を施しています。例えば、「青手の間」は広い窓をとることで庭と一体化した設計になっており、絵画的な青手作品の魅力を引き出しています。また、豊かな色彩で描いた色絵・五彩を楽しむ展示室には、茶室を設けるなど、南加賀の旧家を訪れたイメージとなっています。

2月5日までは特別展「湖東焼と九谷焼」を開催中。常設展も含め、入館料だけで鑑賞できますので、ぜひご家族そろって名品の数々をお楽しみください。



①



②



③

- ①青手:吉田屋窯 竜宮図平鉢
- ②赤絵:宮本屋窯 赤絵金彩松園瓢形大瓶
- ③色絵:古九谷 色絵滝二双鳥図隅切角皿 (すべて県九谷焼美術館蔵)

▼ 趣ある空間で作品を楽しむ「色絵・五彩の間」



交通アクセス



加賀市大聖寺地方町1-10-13
TEL 0761 (72) 7466
ホームページ www.kutani-mus.jp/

- 開館時間/午前9:00~午後5:00 (入館は午後4:30まで)
※館内の茶房「古九谷」・ミュージアムショップは 午前9:30~午後5:30
- 休館日/月曜 (祝日の場合は開館)
- 入館料/一般500円、高校生以下・障害者等は無料



“ふるさと”お宝キーワード

「九谷焼」

九谷焼は明暦元(1655)年、大聖寺藩祖の命により九谷村(現加賀市山中温泉九谷町)で始まったと言われています。しかし、約50年で生産が一時途絶え、このころまでに作られたものを「古九谷」と呼んでいます。それから約100年後に再興され、多くの職人の手によって日本屈指の伝統工芸として現代まで受け継がれています。

県九谷焼美術館 副館長 中矢 進一さん



農業法人 神子の里
羽咋市神子原町は190番地
TEL 0767 (26) 3580
ホームページ shop.mikonosato.com/

いしかわ 食のじんもい フェスタ

2/5(日) 午前10時～午後4時
県産業展示館3号館
金沢市袋島町南193

石川の豊かな食材と食文化、伝統工芸など、地域資源を活用したご当地グルメが勢ぞろいします。県内の学生による創作メニューの紹介・販売や新しいご当地グルメのお披露目もあります。

ご当地グルメ大集合

- ・能登井
- ・能登鍋
- ・西能登しか井
- ・福招く
- ・はくいなきさの宝箱
- ・宝達志水オムライス
- ・KAHOKU
- ・こたわり雑炊
- ・金澤おでん
- ・つるぎTKGY
- ・白山百膳
- ・白山もんぶらん
- ・かわきた味噌豚どん
- ・小松うどん
- ・小松塩焼きそば
- ・加賀のかがやき
- ・能美風おこのみ焼き
- ・加賀九谷井

※当日は金沢駅西口～産業展示館に無料シャトルバスを運行します



能登鍋

白山もんぶらん

かわきた味噌豚どん

能登井

●問い合わせ 県地域振興課 TEL 076(225)1312 ホームページ www.pref.ishikawa.lg.jp/shinkou/

介護付有料老人ホームのご案内

広告

「いざという時」の安心があるから、
「いま」を楽しめる。

北陸唯一^{※1}、24時間の介護・看護体制を実施^{※2}

24時間・365日、
お一人おひとりを支える
体制での終身介護を
行っています。

◀介護・看護職員が24時間常駐



北陸唯一^{※1}。朝昼晩、メニューを選べるお食事をご予約不要で毎日ご用意。

◀お食事一例(一般棟)^{※3}



北陸唯一^{※1}の「天然温泉」掛け流しの
大浴場と露天風呂。^{※4}

人生を、満開に。



スプリングライフ金沢

三谷商事グループの介護付有料老人ホーム

ゆとりの「一般居室」と
安心の「介護居室」

北陸唯一^{※1}の24時間
介護・看護体制^{※2}

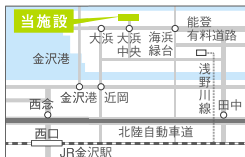
終身介護をお約束^{※5}
介護居室への住み替え費用も不要。

経験豊富なスタッフ&
充実した共用施設。

資料請求・ご見学・体験入居のお問い合わせは

0120-132-871

パンフレットをお送りします▶



事業主体/スプリングライフ金沢 株式会社
※当社は三谷商事(株)の100%出資による会社です。

石川県金沢市栗崎町4丁目80番地2
Tel.076-238-8000 Fax.076-237-2323 <http://springlife.jp/>
(社)全国有料老人ホーム協会 正会員
石川県指定介護保険特定施設(一般型特定施設) 石川県指定第1770100012

※1 介護ビジョン編集部による地域別調査レポート(H22年6月)に基づく。北陸とは石川県・富山県・福井県の3県を指します。※2 夜間時(17:30～翌8:30)は看護職員1名・介護職員2名(最少人員各1名ずつ)の配置となります。※3 写真は実際のお料理の一例です。※4 天然温泉:[泉質]ナトリウム、カルシウム塩化物強塩泉 [効能]神経痛、関節痛、冷え性、慢性婦人病等 当ホームの天然温泉は、泉温が高いので井戸水を加水しています。※5 入居者の行動が、他の入居者又は、従業員の生命に危害を及ぼし、又は、その危害の切迫した恐れがあり、かつホームにおける通常の介護方法及び接遇ではこれを防止することができないときは、契約解除となる場合がございます。

前略 石川県知事

県政に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください



住所・郵便番号・氏名・年齢・職業をご記入の上、
郵便またはファクスでお送りください。

〒920-8580 (住所の記入不要)
石川県広報広聴室「前略 石川県知事」あて
TEL 076(225)1362 FAX 076(225)1363

ふるさと納税

「ふるさと石川」の魅力アップに活用します。
県外在住のご協力者を紹介してください。

●問い合わせ
石川県県民交流課 TEL 076(225)1361
www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/furusatonouzei/